

令和元年度 漢字まなび活動助成 活動報告書

団体名：特定非営利活動法人 安井息軒顕彰会

代表者名：理事長 齋藤 義輝



下記の活動について活動を終了いたしましたので、報告いたします。

記

1. 活動名	みやざき三計塾（安井息軒著「論語集説」を読む）
2. 活動日・活動期間	令和元年5月12日、5月26日、6月9日、6月23日、 7月14日、7月28日 の延6回 午前10時～午前11時45分
3. 活動場所	宮崎市安井息軒記念館研修室
4. 活動目的	漢文で記述された安井息軒先生の著作を講師と一緒に読みながら、漢字に親しみ、安井息軒の学問を追体験する。
5. 対象	安井息軒に関心がある一般の方
6. 参加費	無料
7. 参加人数 内訳 （一般 212名）	
8. 活動結果 （自由記述・写真貼り付け等可）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難しい漢字記述による論語であったが講師は、馴染みのある四字熟語等を例にとって、漢から宋時代にかけての学者の注釈と息軒先生の見解等、漢字で記述された文章を分かりやすく解説していただいた。前回の復習、学者の紹介、論語を読むにあたっての基本的な事項を繰り返し説明されたので、途中から受講される方にも理解し易く好評で、毎回40名以上を超える参加者であった。 ・ 受講生からの質問に対しては講師が丁寧に回答され、漢字の成り立ち等の説明もあり、受講生は満足した様子であった。 ・ 昨年度に引き続き、今回は2回目であったが、受講生アンケートには「論語は奥が深い。」「漢文を少しは理解でき、親しめるようになった。もっと勉強したい。」「次回もぜひ山元先生の講義を受講したい。」等があり、次年度の継続開催要望が高かった。
9. 要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学関係者による講師招聘のシリーズ講座は、講師の賃金単価が高いことから、日本漢字能力検定協会による活動助成制度をいただくことで、このような事業が企画できた。顕彰会としても今後とも貴検定協会の支援を得て、地元大学の漢学のエキスパートである山元宣宏先生を講師とした事業を企画していきたい。

